

## 第1回 学校運営協議会（5／14） 記録

### 【委員】

大きな声で先生の質問に答える児童がいたり、元気に竹鼻音頭の練習していたりしていて良かったです。高学年の子は集中して授業に取り組んでいました。合唱も頑張っていていました。

ただ、1・2年生はまだ集中力にかけていると感じました。窓際の子がわざわざ別の子に声をかけている姿もありました。先生に言い返したりしている姿もあり、心の成長をしないとよくなるのだろうと感じました。

### 【校長】

今後、繰り返し指導していきます。

### 【委員】

最初から1年生をずっと見ていました。4, 5人心配な子がいると感じました。基本的な生活習慣がまだまだついていないと感じました。担任の先生が素晴らしい指導をしていらっしゃると思いました。担任の先生のエネルギーが無くならないように配慮してほしいと思います。

### 【校長】

今は、支援員3人体制で指導していますので今後も必要があれば続けていきます。

### 【委員】

今の状態を続けた方がいいと思います。夏休みまでに落ち着いてくればいいと思います。4, 5人の子は家庭の教育や社会の教育からかなり外れていると感じました。

### 【委員】

低学年、中学年を見させていただきました。素直に自分の気持ちを伝えようとする姿勢から先生との関係はいいなと感じました。

キーワードで「多様性を認め」といった言葉が校長の話にもありましたが、そういう時代になっており、1年2年でということよりも長いスパンで見えていかないといけないと考えます。思い切った対策というのを躊躇なくやっていかないといけない時代になってきていると感じました。

各校区の特徴を大切にすることは大事なことで、各校区の伝統や文化を集めたものが羽島市の教育としてステップアップすると思います。竹ヶ鼻村の400年の歴史を考えると、教育資源はたくさんあるし、竹鼻といえば山車の曳そろえ、奉納、お囃子で、これが伝統・文化だと思います。能は竹鼻小の伝統だと思います。この2つを柱として年間通して子供たちの財産にしてもらえたらと期待しています。

「地域行事への参加」ということがありましたが、学校の中でしたいろいろな経験を生かす場所は地域の行事とか地域のボランティアの中だと思っています。そういう視点で学校評価を改めて見させていただきました。運営協議会の重要なことは、校長が説明したことをこの1年間、活動に触れあいながら評価というか、感じたことを伝えていくことだと思います。1年間よろしくお願いします。

### 【委員】

教師になっても多くの人が辞めてしまうという状況もあると聞きました。お客さんが来ると大抵

いいところを見せるが、そういうことがない学級もありました。

日本全体がもうちょっと考えないといけないと感じました。最近の子どもは、口が実に達者だと感じます。これが6年間ずっと続いていくと考えると心配です。

1年生の学級でおなかにボールを挟んで運ぶ運動は、非常にいい仲間づくりをしていました。

#### 【校長】

1年生はまだ自分のことがわかっていない段階なので感情が突っ走ってしまい、その瞬間に思ったことをしゃべってしまいます。なかなかコントロールが効かないので我々も繰り返し繰り返し指導し、保護者の方に協力をいただきながら丁寧に指導をしていきます。

#### 【委員】

先生になりたいという人たちが教育実習で来校された時に、「これは…」ということにならないようにしてほしいと思います。

#### 【委員】

私を含めて25人の民生委員がいて、そのうち2人が主任児童委員としてここにいる児童たちに関して活動しています。少し前に、ミシンの関係で民生委員が竹小にお邪魔したこともありました。

現在、一人の民生委員が算数と日本語を教えています。私も昔遊びに参加させていただきましたが、遠慮なくどんどん要請していただければ来ますのでよろしくお願いします。

#### 【委員】

昨日、なかよしと1年生、3年生の学年に交通安全教室を行いました。1年生は外で行いましたが、一つのクラスはあまりきれいに並んでいないな、2つのクラスはきれいに並んでいるな、という印象を受けました。

「横断歩道を渡るときはきちんと手を挙げてわたってくださいね」という時に、はずかしがっている子がいたので、練習をして、こうやってあげるんですよと声をかけてみんなにやらせたら、全員がしっかりと手を挙げました。

今現在落ち着きのない行動を起こす子もいるかもしれませんが、これからどんどん心は変わっていくと思います。先生は大変だと思いますが気長によいこと、悪いことを教え導いていくことが大切だと思います。

もしもこれが学校の外的場合は、警察としての指導もしていくつもりです。

つい先日、小学校付近で交通事故がありました。最近、交通事故や様々な犯罪がありますので、登下校の時間帯の見守りを行っています。各管内の通学路をパトカーで警戒しているところです。竹鼻交番の管内には、竹鼻小や福寿小、中央小や堀津小もありますが、いつも最後は学校付近に停めて監視をしています。見守り隊の人に「パトカーがいると車のスピードが落ちる」ので毎日来てくださいと言われますが、なかなか毎日ではできません。今後できるだけ児童の見守りを行っていきたいと思っています。

#### 【委員】

どの先生も子供たちに向き合っているという感じを受けました。子供たちに前向きに接しようとする姿が見られました。どの授業も板書に課題が書いてありました。この1時間この課題で頑張るんだよという先生からの投げかけであり、こういうことは先生の姿勢として大切なことだと思います。

子どもたちはどうかというと、7割程度の子どもは、先生に対して向き合っていました。まだ5月なので伸びしろがあると言っていいんじゃないかと思っています。

学級目標というのは、集団作りにとって一番大事なことです。だからこそ学級目標は、先生と子供たちで練り上げて練り上げてつくるものです。5月、あの目標に向かって僕たち私たちがどの姿になっているのかな、どこまで到達できているのかな、など客観的に評価して、もう少し特活面について力を入れていただくといいかなと思います。

運動会が春に位置付いたのは、集団作り、みんなでひとつの競技、団体競技をすると連帯感が生まれるからです。4年前の5月に運動会の1年生の姿を見て「すごい1年生だな」といった覚えがあります。運動を通してできる集団作りを行い、運動会を学級として学年としてまとまる一つのいきっかけにしてほしいなと思います。

#### 【委員】

低学年の学校指導全体計画を見させていただいて、本来親がすべきとことと私は捉えています。簡単に言うとしつけの問題だと感じます。ここに書いてある決まりを守るということはやはり親がしなければいけないことと思います。自分がPTAの会長をやっていた時も何回も言ってきましたが、すごく親力が弱っているなと感じています。PTAの人に頑張ってもらいたいと思います。

3年生の授業を見させてもらった時にすごいなこの先生と思いました。子供たちと呼吸を上手く合わせているところがあって、有名な漫才師の漫才を見ているような錯覚にも陥って、ずっと授業に聞き入ってしまいました。お互いに呼吸を合わせながらやっていてすごいなと思いました。

なかよし学級についても土に触れるっていいことだと思いました。今思ったことを大きな声で、今言えるという子供たちの姿がいいなと思いました。教室の中だと制限されるが、外だと今思ったことを素直に言えるのがいいなと思ったのでそういう授業も大切してほしいです。

6年生はとても落ち着いていて、やっぱり違うなと感じた。ちゃんとトップになると責任感を持つんだろうなと思いました。

いい大人、いろんな大人と接していくときにどうその子と接していくのか、どうやって前を向かせていけるかはやっぱり親の責任だと感じています。

「夢を持って前へ」ということを子供たちに伝えていきたいし、夢破れても前を向いている自分がいるということも参考事例になればと思うのでそういう話もしていきたいと思います。

皆さんと一緒に竹鼻小学校の一番の応援団になっていきたいと思いますので今後もよろしくお願いします。